



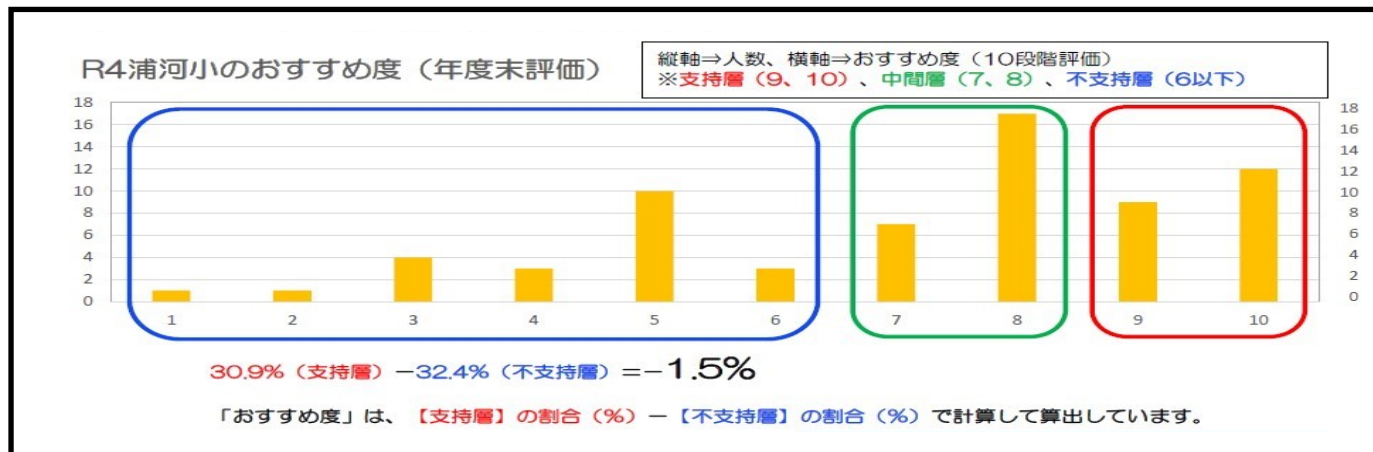
【浦河小学校の教育目標】
「自ら学び心豊かに 自分の夢や希望の
実現に励む子の育成」

【令和4年度 重点目標】
「チャレンジ：目標へに向かって、協力して
計画的に取り組む力を養う」

発行：令和5年2月8日第16号

保護者アンケート結果 <No.2> (年度末評価) ~少人数のメリット・デメリット~

今回の保護者アンケート結果は、下の浦小おすすめ度を選んだ理由を「支持・中間層」「不支持層」に分けてご紹介します。本校が子ども達そして保護者の皆さんにとって安心・安全な学校であり、成長を期待できる学校となるために、本当に貴重なご意見をたくさんいただきました。



<支持層・中間層の回答の理由とご意見>

- 人数が少ない分、目配りがよい。教科書の学びだけでなく社会的な学びもおしえてくれる。
- 地域の連携した総合の学習が各学年とも良い。

⇒本校の最も特徴的であり、特色でもある教育活動がこの総合的な学習での地域との関わりです。地域の方々、先生ではない大人の方と接することで教科書では学べない、真の生きる力を身に付けられると思っています。

- 少人数であることの良さとおもいますが、少人数であることの課題があるとおもいます。
- 子どもの状況に合わせて柔軟に対応をしてもらえて助かっているため。
- 一学年1クラスなので他の学年との交流が盛んで仲良くしていると思います。
- 子供1人1人に合わせて、寄り添ってくれている。学年の垣根を越えての子供同士の関わりや学年関係なく、どの先生も見守ってくれていると感じられる。
- 人数が少ない事が一番の利点だと思います。先生方は大変だと思いますが、子供一人一人をみてくれていて、トラブルにもすぐ対応してくれていたと感じ

ました。一クラスというのは少なく感じるかもしれませんが、6年間過ごした仲間は、大人になっても上の世代も今でも大切な宝物となっています。

- 1学年1学級の規模で、目の行き届いた教育が行われていると思います。
- ⇒1学級の人数は少ないですが、やはり一人ひとりの子どもの状況を把握するには、常に先生自身が努力を続け、力をつけていかなければなりません。「自分には不十分な所がある」との自覚を持ちながら一人ひとりの子ども達に寄り添って行きます。
- 毎年先生や管理職は転勤で入れ替わりますが、浦小はとても良い先生達に恵まれていると感じます。それはきっと、今までの浦小の良いところを引き継いできて絶やさないようにしてくださっているからだと思います。児童を大切に、保護者との連携も取られていて、温かい雰囲気の学校だなあと感じます。いつもありがとうございます。
- 校長教頭先生はじめ先生・職員の方々が日々 子供たちに向き合って学校運営してくれているからです。
- ⇒温かいお言葉、本当にありがとうございます。上にも書きましたが、常に教師として向上心を持って子ども達と一緒に学び続けていきたいと思っています。

- ・他校よりタブレットなどを使用した授業が進んでいるので。先生方の評価も他校よりいいと周りから言われているので。
- ・タブレット端末の利用が進んでいる。数学の習熟度別学習と理科の専科の学習がよい。子どもが学校に楽しく行っている。
- ・タブレット活用の充実

⇒ICT機器を活用した授業はこれまで2年間、すべての先生が頑張ってきた自負があります。しかし、タブレット利用のルールが徹底していなかったり、タブレットを使うことが目的化してしまい、学習効果が思うように上がっていないということもありますので、今後は、使用する目的を見失わずに取り組んでいきます。

- ・子ども達が楽しく登校している為。
- ・6年間通学させて頂きましたが、担任の先生によって安心感が変わると思いました。
- ・学校が良い。母親が学校の雰囲気が好きだから。

⇒一人でも多くの子ども達や保護者の方々が「浦小」に対して誇りを持てる学校にしていきたいです。

<不支持層の回答の理由とご意見>

- ・学校の運営には満足しています。ですが、少人数のメリットとデメリットを鑑みた結果の点数となりました。
- ・学校の体制としては満足しております。やはり少人数ということのメリットとデメリットを鑑みて、点数を決めました。
- ・先生方の学校運営に不満はありませんが、選択肢として同じ町内に各学年に複数のクラスを有する学校があるのであればそちらを推薦します。

⇒これらのご意見をいただいて、学年1学級で20名前後の少人数のメリットを十分に生かし切れていない、良さを伝え切れていない、と改めて確認しました。

授業での子ども達の理解度や学び方をしっかりと見取って、励ましや個別指導、子ども同士の学び合いなど、いわゆる「個別最適な学び」を実践していきます。

- ・学習等の個別指導が行き届いているように思うが、学力が低いのが気になる。
- ・特に勉強の方がしっかり学べているのか解らない。テストで判断しているがその時だけ出来ていて基礎定着があまりできていない様に思います。
- ・勉強の面で宿題の少なさが気になります。

⇒学力については、以前に学校だよりでも全国学力調査や学力検査（CRT）結果をお知らせしたとおり、本校の大きな課題でもあり、2学期から朝学習を活用した基礎基本の徹底定着を目指してきました。12月のCRTの結果から国語では改善が見られましたが、算数については、さらに改善が必要であると全教職員で課題意識を共有するとともに、朝学習も算数に重点をおいて全学年取り組むことを確認しま

した。

算数は、計算スキル以前に、問題を読み取り、問題文の中に何が分かっているか、何を問われているか、四則計算の何を使って答えを導き出すかのいわゆる「読解力」の課題も浮き彫りになりました。

このような分析をもとに、授業でも国語的な読解力だけでなく、全教科さらには生きていく上で必要となる「読み取る力」をつけられるよう指導してまいります。

各ご家庭でも、子ども達の読書時間の増加への協力と読書をした後に「どんなことが書いてあった?」「この本の何が面白いと思った?」「読み終わってどんなことを感じた?」と聞いてあげることでも読解力を高めていくことができますので、ご協力をお願いします。

- ・クラスの雰囲気も良い様には思いません。
- ・学校でのタブレットの使用が自由すぎな気がします

⇒今年度の浦河小学校では、「認め合う姿勢（受け入れる力）」を育てることを重点に定めこれまで指導してきましたが、十分にそれらの力を育てられていないことが明らかになりました。生徒個々の発達段階もありますが、学校全体として結果が出ていないということは、指導の改善が必要だと自覚し、先日は文教大学教授の石垣先生に來校していただき、全学級の授業を参観、そして校内研修の場で子ども達の行動からどんなことが読み取れるか、どんな声かけをする必要があるかなどの指導を受けました。

次号の学校だよりで掲載予定の評価項目に、「学校へ行くことを楽しみにしているか」の結果を掲載しますが、この結果を本校教職員全員は深刻に受けとめています。子ども達が安心安全に学校に来ることができる、学校に來たいと思える学校づくりに向けて、教職員一丸となって努力していきます。

- ・勧めるよりも 親子が来たいと思うかで決まるところから どういう感じの学校かを教えるくらいだから評価は半分
- ・前に通っていた札幌の小学校と比べて子どもの意見なども参考に総合的に判断した。
- ・年々、若手の先生が増え、中堅・ベテランの先生が少なくなっているように感じるため。

様々なご意見、本当にありがとうございました。今年度、浦河小学校として子ども達の成長を目指し、そして児童一人ひとりの個性を伸ばせるよう指導に尽力してきました。

保護者の皆さんからいただいたこれらのご意見は、これから浦河小学校として何を強みにし、何を改善していくか、といった令和5年度の方針策定にとって貴重なものとなっています。令和4年度はまだ2ヶ月あります。その2ヶ月で、子ども達の多くが、そして保護者、地域の皆さんが、「浦小の子ども達、本当に成長できたね」と実感できるよう、力を尽くしてまいります。あわせて、各ご家庭の協力も期待しています。今回の評価へのご協力本当にありがとうございました。